

吉野川流域の生態系ネットワーク形成の取組

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会の推進体制

推進協議会の下に、各地域で具体的な取組を検討・実施推進する「地域ワーキング」を設置します。また、必要に応じて「専門部会」を設置し、「地域ワーキング」へ専門的知見からの支援を行います。

『吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会』

- 開催回数：年1回程度
- 構成：学識者／市町長／行政／関係団体等 計30人程度
- 主な役割：流域全体構想の策定・推進・更新

『専門部会』

- 開催頻度：必要に応じて開催
- 構成：分野別専門家 各5～6名程度
- 主な役割：地域ワーキングでの検討及び事業実施における専門的知見からの支援
- 主な検討事項

『生息環境づくり専門部会』

- ・吉野川流域におけるコウノトリ・ツル類の定着に関すること
- ・吉野川流域の堤内・堤外における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること

『地域・人づくり専門部会』

- ・吉野川流域におけるコウノトリ・ツル類が舞う魅力的な地域づくりや人材養成に関すること
- ・吉野川流域の堤内・堤外における生態系ネットワーク形成の効果的推進に関すること

支援

『地域ワーキング』

事業の実施にあたって、地域の関係主体が参加して具体的な取組を検討、推進

鳴門地区生息環境づくりワーキング

- ・旧吉野川での自然再生事業における環境創出、維持管理等について検討事業実施計画の策定

鳴門地区地域・人づくりワーキング

- ・鳴門市における魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進や地域の課題について検討

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会

協議会を2017年10月に設立し、2019年3月に「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想」を策定・公表しました。

〈2017年度〉

第1回協議会（2017年10月19日）

【主な内容】

取組状況について／目標及び展開方針について／今後の進め方について

〈2018年度〉

第2回協議会（2019年1月16日）

【主な内容】

コウノトリ・ツル類の飛来・生息状況と関連する取組について／全体構想(案)について／キャッチフレーズについて

全体構想の公表（2019年3月）

〈2019年度〉

キャッチコピーの公募・選定（2019年5月）

「ツル・コウノトリと未来育む阿波の国」

第3回協議会（2020年1月17日）

【主な内容】

コウノトリ・ツル類の飛来・生息状況と関連する取組について／全体構想の取組に対する評価

協議会構成員（2020年1月現在）

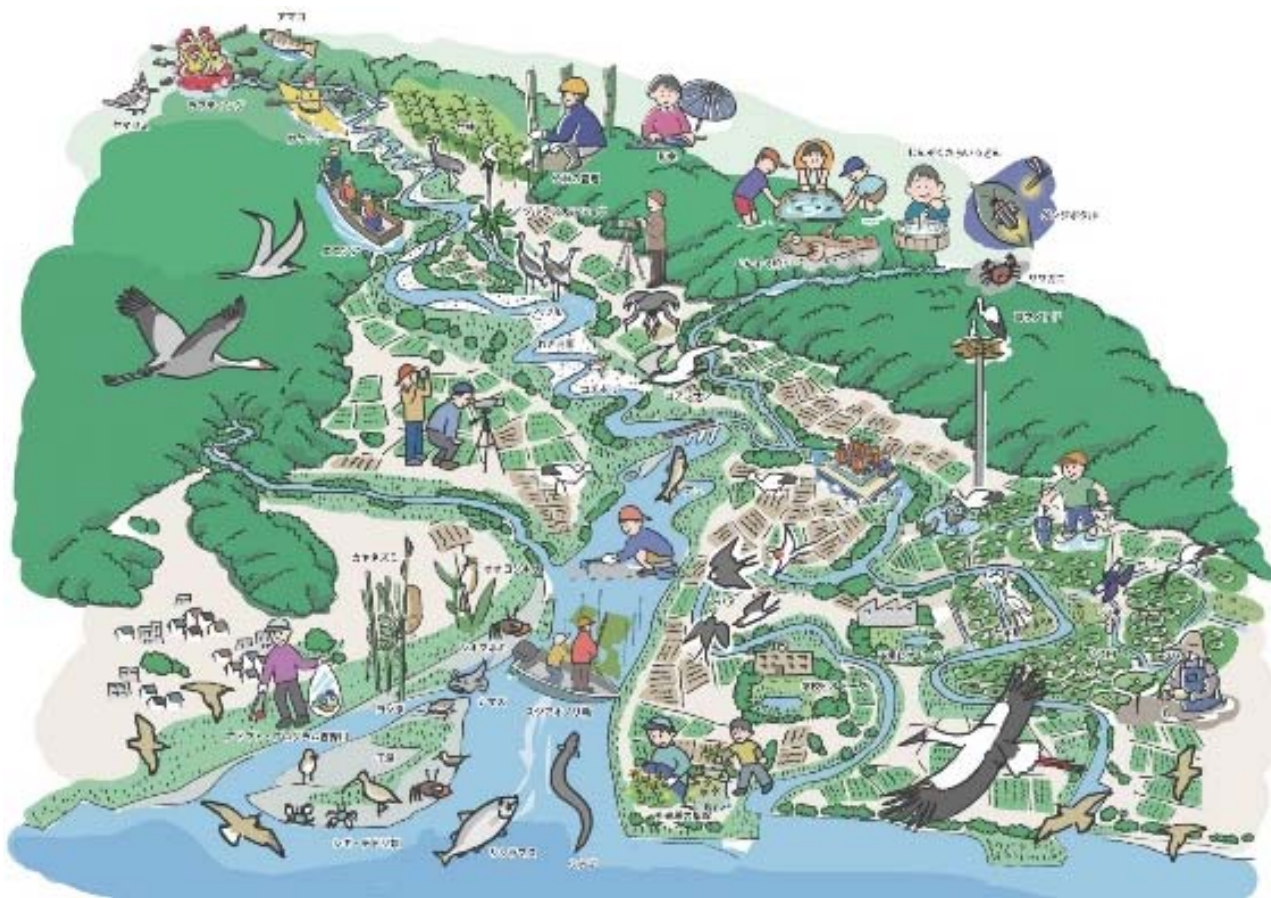
学識者	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授 ◆会長	武藤 裕則
	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授	鎌田 磨人
	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授	河口 洋一
	徳島希少鳥類研究会 事務局長／コウノトリ定着推進連絡協議会	柴折 史昭
市町長	徳島市長	遠藤 彰良
	鳴門市長	泉 理彦
	藍住町長	高橋 英夫
行政	徳島県危機管理部 部長	折野 好信
	徳島県県民環境部 部長	板東 安彦
	徳島県農林水産部 部長	手塚 俊明
	徳島県商工労働観光部 部長	黒下 耕司
	徳島県県土整備部 部長	北川 政宏
	国土交通省 徳島河川国道事務所 事務所長	宮藤 秀之
	株式会社阿波銀行 専務取締役	福永 丈久
	コウノトリ定着推進連絡協議会 会長	竹村 昇
	四国電力株式会社 常務執行役員 徳島支店長	野村 喜久
	四国放送株式会社 取締役報道制作局 局次長	綱師本 誠司
団体等 (50音順)	四国旅客鉄道株式会社 徳島企画部 部長	山本 仁志
	徳島希少鳥類研究会 代表	大村 龍一
	株式会社徳島大正銀行 常務取締役 営業本部長	吉岡 真喜男
	一般財団法人徳島県観光協会 理事長	矢田 博嗣
	徳島県農業協同組合中央会 会長	中西 庄次郎
	公益財団法人とくしま産業振興機構 理事長	熊谷 幸三
	一般社団法人徳島新聞社 理事 総務局長	吉村 昇
	一般財団法人日垂ふるさと振興財団 理事 事務局長	粟谷 圭吾
	日本ビオトープ管理士会徳島支部 代表	樫本 幸実
	日本野鳥の会徳島県支部 支部長	三宅 武
オブザーバー	吉野川交流推進会議 会長	福永 義和
	環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所長	櫻井 洋一
	農林水産省 中国四国農政局 農村環境課 環境保全官	田中 一彦

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワークに参画する様々な主体や地域の方々が、取組の目的・目標を共有し、吉野川流域の様々な場所で、連携・協働による取組を効果的に進めるために、全体構想を策定しました。

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク形成の目的

- 1 コウノトリ・ツル類を指標とした河川と取り巻く地域が一体となった自然環境の保全と再生による生態系ネットワークの形成
- 2 コウノトリ・ツル類を指標とした生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現



到達目標

◇コウノトリ・ツル類がくらししていることを日常の光景とし、これらが舞い降りる川や田んぼは、カエル・魚・虫などの生物多様性が豊かで、良好な水辺の景観が広がっている場所にする。

◇川と里での生態系ネットワークの取組を、山や海へも広げ、各地域特有の自然環境や歴史・文化・伝統を最大限に守り活かした産業と、落ち着いた暮らしが営まれているようにする。

◇地域に住み、働き、訪れる人々が、自然とのつながり・人とのつながりを実感できる、吉野川流域独自の魅力的で持続性のある地域づくりを展開する。

鳴門地区生息環境づくりワーキング

「鳴門地区生息環境づくりワーキング」は、2018年11月27日に設置され、旧吉野川での自然再生事業において創出する環境や管理・活用等について検討を進めています。

〈2018年度〉

第1回ワーキング（2018年11月27日）

【主な内容】
自然再生事業で創出する環境について

第2回ワーキング（2019年3月19日）

【主な内容】
事業の目標について／ゾーニング（自然再生ゾーン・湿地ゾーン・ハス田ゾーン等）について

〈2019年度〉

第3回ワーキング（2019年11月5日）

【主な内容】
自然再生ゾーンと湿地ゾーンの割合について／活用の促進について／協働による維持管理について

第4回ワーキング（2019年12月20日）

【主な内容】
協働による維持管理について／事業実施計画（案）について

〈2020年度〉

第5回ワーキング

【内容（予定）】
事業実施計画について

第3回ワーキング出席者

河口 洋一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 ◆座長
柴折 史昭	コウノトリ定着推進連絡協議会
佐藤 泰三	徳島県農林水産部鳴門藍住農業支援センター 主査兼係長
林 裕史	鳴門市市民環境部環境局環境政策課 係長
出口 進	鳴門市教育委員会生涯学習人権課 文化財担当
高木 律生	藍住町建設課 課長
池添 好巨	国土交通省徳島河川国道事務所 副所長
八木 健治	川崎自治会
竹村 昇	コウノトリ定着推進連絡協議会 会長
和田 美則	徳島北農業協同組合 代表理事常務
藤川 浩	徳島北農業協同組合 経済部部长
天野 大	徳島県技術士会 理事
藤江 幸一	津慈土地改良区 理事長
野田 勇人	特定非営利活動法人れんこん研究会 理事長
樫本 幸実	日本ビオトープ管理士会徳島支部 代表
長谷川 益男	三俣自治会 自治会長
事務局：国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所地域連携課	



旧吉野川での自然再生

鳴門市大麻町板東と藍住町乙瀬にまたがる、旧吉野川と板東谷川の合流点に、コウノトリの採食場に適した湿地を整備する予定です。湿地を整備する際に河岸の一部を掘削し、川の流下能力も高めます。

旧吉野川での自然再生の目標

- 1-1 旧吉野川で失われつつある湿地環境と周辺農地との連続性を再生し、かつて生息していた多様な生物が生息・生育できる場所にする。
- 1-2 コウノトリの採餌に適した湿地を再生し、コウノトリの安定的な生息を支える生態系ネットワークの一拠点とする。
- 2-1 周辺の観光資源との連携等により、観光客が立ち寄り、地域の魅力をアピールする場にする。
- 2-2 コウノトリの生息を活かした農業振興に役立つ場所にする。
- 2-3 住民、学校や団体、企業などが活用・管理に様々な方法に関わるようにし、交流を通じて地域振興につながる場所にする。



ゾーニング

自然再生ゾーン

池や水路、草地などを再生し、多様な生物が生息する区域

湿地ゾーン

コウノトリの採食に適した湿地を再生する区域

観察・活用拠点ゾーン

コウノトリをはじめとする野生生物の観察や休憩などの拠点となる区域

ハス田ゾーン

コウノトリの採食等に配慮した種レンコンの生産を行う区域

鳴門地区地域・人づくりワーキング

「鳴門地区地域・人づくりワーキング」は、2019年9月30日に設置され、コウノトリの繁殖により注目を集める鳴門市における、魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進や地域の課題について検討を進めています。

〈2019年度〉

第1回ワーキング（2019年9月30日）

【主な内容】

集客イベントの実施について／今後の展開に向けた検討事項について

鳴門コウノトリれんこん教室（2019年12月1日）

【内容】

生き物観察とれんこん掘り取り体験／調理体験・食事
主催：吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会／共催：JA徳島北／協力：鳴門市

第2回ワーキング（2019年11月5日）

【主な内容】

今後の集客に向けた取組について／オリンピック・パラリンピックと合わせた普及啓発について／今後の展開について

〈2020年度〉

第3回ワーキング

【内容(予定)】

今後の展開に向けた検討等

第1回ワーキング出席者

河口 洋一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
柴折 史昭	コウノトリ定着推進連絡協議会
田村 耕一	(一社)イーストとくしま観光推進機構 協議会長 ◆座長
加藤 泰	(一社)イーストとくしま観光推進機構 事務局次長
渡辺 晃	(一社)ツーリズム徳島 事務局長
藤川 浩	JA徳島北 経済部 部長
野田 勇人	NPO法人れんこん研究会 理事長
塩崎 桂子	アオアヲナルトリゾート アシスタントセールスマネージャー
天野 裕己	(一社)鳴門市うずしお観光協会 局長補佐
斎藤 忠恒	大麻町商工会 会長
富山 剛	徳島県県民環境部環境首都課 課長補佐
玉岡 あき子	徳島県商工労働観光部観光政策課 課長補佐
佐竹 孝文	鳴門市経済建設部農林水産課 課長
小椋 勝	鳴門市経済建設部観光振興課 課長
事務局：国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所地域連携課	



鳴門コウノトリれんこん教室

「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」の取組の一環として、指標種であるコウノトリを活かした地域活性化への可能性を探るため、コウノトリの生息を支えるれんこん畑を舞台にモニターツアーを開催しました。徳島大学の河口先生によるコウノトリのお話や生きもの観察をはじめ、コウノトリとれんこん畑の深い関係を学びながら、親子連れの参加者30名がれんこん掘りを体験し、調理して味わいました。

【日時】2019年12月1日(日)11:00~14:00

【場所】板東南ふれあいセンター周辺

【内容】

- (1)徳島大学 河口先生のコウノトリとれんこんのお話
- (2)れんこん掘りと生きもの観察
- (3)お料理体験とお昼ごはん



■参加者のご感想など■

- ・農家の人と話すことが出来て、れんこんへの日頃の疑問が解決して楽しかった。
- ・コウノトリがこの地域に集まっていることが素晴らしく、活動がもっと盛んになって、徳島の有名スポットになったらいいなと思います。
- ・れんこんの食べくらべなどができ良かった。
- ・コウノトリの生態や食べているものについて、詳しく知ることができ、れんこん畑にコウノトリが来る理由がわかりました。
- ・れんこんを使った料理のレシピをたくさん教えてもらったので、家でも作ってみたいです。

今後の発展移行について

次年度からは徳島県や那賀川河川事務所に事務局へ参画いただき、徳島県へのコウノトリ・ツル類の飛来・生息状況を勘案して、取組を順次拡大し、「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会（仮称）」へ発展移行します。



2000年以降の徳島県へのコウノトリ・ツルの飛来・生育状況(2000年1月～2019年1月までのデータを基に作成)